令和8年度
町政執行方針

暮らし輝き交流あふれる
四季彩のまち・かみふらのをめざして

地方税収など自主財源の大きな伸びが見込めないなか、歳入全体の7割以上を依存財源が占めており、財政構造の硬直化が進んでいる実態にあります。

歳出面は、町立病院やこどもセンターなどの整備に伴う地方債の償還が始まり、今後の公債費の増加が見込まれているほか、社会保障関連の扶助費や人件費、物価高騰に伴う諸経費も上昇傾向にあります。加えて、自立した地域を維持するための地域振興策や、頻発する自然災害への対応、老朽化した公共インフラの長寿命化や公共施設の改築など、今後も多大な財政需要が見込まれており、中長期的な見通しのもと、活力あるまちづくりと自治体経営の安定化を両立させていく必要があると認識しています。

財政状況は依然として厳しい局面ではありますが、町民の皆さまが「かみふらの」に愛着を持ち、夢と希望に満ちたまちづくりを進めていくことが何よりも肝要であると受け止めています。第6次上富良野町総合計画に掲げている将来像の実現に向け、「協働のまちづくり」「穏やかに安心して暮らせるまちづくり」「人が行き交うまちづくり」の3つの視点を基本に、これからの「かみふらの」を見据え、活力・魅力・持続可能性を備えた自治体運営を念頭に、各事業の緊急性や優先性を厳格に精査し、今後見込まれる財政需要への財源確保を注視しつつ、将来に責任を持てる予算編成を行いました。



ここに掲載しているのは抜粋です。
全文は町ホームページでご覧ください

令和8年度町政執行方針
全文はこちらから

5つの町政運営基本方針

きれいで安全・安心な 生活環境のまち

施設・設備の老朽化が進んでいた葬斎場は、中富良野町西山火葬場の共同利用を本年度から開始します。

供用開始から26年が経過したクリーンセンターは、施設や設備の経年劣化による故障などが顕在化しており、長寿命化計画に基づき、主要機械などの改修を実施し、安定した施設運営が行えるよう対応します。また、焼却施設について、他施設の利用も含め今後の処理体制を関係自治体と協議、検討を進めます。

消防・防災は、十勝岳大正泥流被災100年追悼事業を実施するほか、町民への出前講座や十勝岳ジオパーク（防災教育）・自主防災組織と連携した取組みなどにより、町民の防災に関する知識・意識の向上につなげます。

新　規

・十勝岳大正泥流被災100年事業

継　続

・日の出公園ラベンダー植栽事業

みんなが元気になる 健康・福祉のまち

本年度より新たに定期接種化される、妊婦を対象としたRSウイルスワクチン、高齢者に対する高用量インフルエンザワクチンについて、公費助成による負担軽減を図るとともに、医療機関と連携を図りながら円滑な実施に努めます。

病院施設改築整備は、昨年度より引き続き外構整備を実施してまいります。

子育て世帯への更なる経済的支援の取組みとして、認定こども園などの給食費に係る費用の保護者負担分を助成し、子どもの健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減を図ります。

本年度より、町内の教育・保育施設で「こども誰でも通園制度」を実施し、家庭とは異なる経験や家族以外の年齢の近い子どもと関わる機会を整え、子どもの成長につなげます。

新　規

・教育・保育施設給食費助成
・乳児等通園支援事業（13ページで詳しく紹介しています）
・地域センター病院小児医療体制確保対策事業
・妊婦定期予防接種費補助

活力と交流あふれる 産業のまち

農林業では、農業の生産性向上を図るため、引き続き富原・島津地区において基盤整備事業を実施するとともに、未整備地区においての事業展開について関係機関に対し要望を行います。

農業生産の維持、拡大につなげるとともに、将来の担い手として定着する取組み、新規就農への準備を合わせて進めます。

商工業では、本年度3年目を迎える「第3次商工業振興計画」に基づき、国や北海道との連携のもと、商工会を中心とした関係機関と一体となって商工振興施策を推進するとともに、既存事業者の経営の持続化や経営基盤の強化、新たな担い手による創業や新事業の展開を支援します。

観光・交流では、産業イベントの活性化やラベンダーフェスタかみふらのなどの四季彩イベントについて、関係者、関係機関と協議のうえ、町外からの誘客促進はもとより、町民への還元につながる取組みを進めます。



ラベンダーフェスタかみふらの

十勝岳ジオパークでは、町民一体となって活動を推進する体制を模索し、十勝岳ジオパーク推進協議会の新たな体制の構築を目指します。特に、ジオパークブランドの構築や町内団体とのパートナーシップ協定などを通じて、ジオパークによるまちづくりの体制を強化します。

十勝岳ジオパーク固有の優れた景観を保全し、学校教育・社会教育の推進、地域資源の開拓のための調査・研究活動を引き続き進めます。



ジオパーク全国大会

また、拠点施設である上富良野町郷土館や十勝岳砂防情報センターでの展示や各種イベントを通じて、十勝岳ジオパークの魅力を広く発信できるよう取り組みます。

新　規

・地域活性化担い手創成事業
・ヒグマ対策

拡　充

・地域おこし協力隊

ともに生き ともにつくるまち

自衛隊員との共存共栄のまちづくりを図るため、駐屯地と連携し、隊員が働きやすい環境を図るとともに、関係する市町村や機関、団体と連携しながら、上富良野駐屯地の規模堅持と体制強化、隊員の充足率の向上などを求める要望活動を進めていきます。

行政組織機構について、企画立案や調整機能の強化、地域課題の解決やコミュニティ支援、広報・広聴機能の充実を図り、地域の活性化とにぎわいづくりを推進し、地域振興、雇用の確保などに一体となって取り組むため、企画商工観光課を企画政策課と商工観光課に再編し、効果的・効率的な行政を推進します。

ふるさと納税は、返礼品の充実や新規返礼品の開発を促進し、地域の魅力を全国に広く発信することにより、地域活性化財源としての確保を図るほか、企業版ふるさと納税については、「泥流地帯」映画化事業のほか、地域活性化を図るうえでの有効な財源として活用し、企業が取り組む地域貢献活動と一体となったまちづくりを進めてまいります。

拡　充

・町道維持費
・簡易舗装整備事業

発展を支える 生活基盤の整ったまち

道の駅整備について、本町に最も適した道の駅のイメージ像や基本構想の確立に向け、関係機関や関係団体と意見交換や情報共有を図るとともに、情報収集、調査・研究を行います。

本年3月よりJR北海道の営業体制見直しによる上富良野駅の窓口営業が終了したことに伴い、JR利用者への影響が低減されるよう丁寧な対応や、無人化となった駅舎が有効に活用されるようJR北海道に対し要望します。

新たに「住宅新築費補助制度」を創設し、空き家の発生抑制や空き地の有効活用につなげます。

定住移住の促進について、移住体験イベントの開催により、町での生活や魅力を体感していただき、移住だけでなく関係人口の増加を図ります。また、令和8年度中に新たに実施される「ふるさと住民登録制度」について、円滑な実施と登録者の獲得に向け、調査研究を進めます。

令和8年度
教育行政執行方針

ふるさとに学び　人が輝き
人がつながる　かみふらのの教育

人口減少や少子化の進行、デジタル技術の高度化など、社会情勢が急速に変化し、従来の知識や経験のみでは将来を見通すことが難しい時代を迎えています。

このような時代にあっても、子どもたちが社会の変化に受け身で対応するのではなく、積極的に向き合い、主体的に課題を解決する学びの深化を通して、よりよい社会を切り拓いていけるよう、学校教育を通じて、そのために必要な資質・能力を育んでいくことが重要です。

また、人生100年時代と言われ、より多様で豊かな生き方・暮らし方が志向されている中、多くの町民が生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、必要な知識・技能の習得や学びなおし、知的・人的ネットワークの構築や健康の保持・増進など、生涯にわたって生き生きと学び続けることができる環境づくりが求められています。

こうした中で、全ての施策の根底にあるのは、「人間の力」を育むことであり、豊かな未来を創る根幹として、誰もが最適な教育を受けることができるよう、重要な役割を果たすことであります。

一人ひとりが、未来に希望が持てる社会、地域を形成していけるよう、これからの時代にふさわしい、より質の高い、深い学びを実現するために、着実に取組みを進めてまいります。

教育委員会では、「ふるさとに学び　人が輝き　人がつながる　かみふらのの教育」の教育理念を再確認し、「自然豊かな上富良野で、希望を抱き、自らの夢に挑戦し、実現する人」「ふるさとへの愛情と誇りをもち、共に支え合い、社会で生き抜く人」の育成をめざし、教育行政を進めていきます。



ここに掲載しているのは抜粋です。
全文は町ホームページでご覧ください

学校教育推進目標に関連する6項目

①活きて働く学力の育成

・確かな学力の育成

「確かな学力の育成プラン」を作成。子ども主体の授業をめざし、組織的な「授業改革」を進めます。

・特別支援教育の充実

就学前から関係機関と連携し実態把握に努め、児童生徒にとってより適切な学びの場の提供に努めます。3つの小中学校に「特別支援教育支援員」の配置、学校での医療的ケアを継続して実施します。

・国際理解教育と情報教育、キャリア教育の充実

外国語指導助手（ALT）、英語専科教員を配置し、指導への支援を進めます。ICT機器の基本的操作のスキル向上と情報モラル教育を推進します。キャリア教育では児童生徒の自ら学ぶ力を育成するため、キャリアパスポートなどの活用の推進と農業体験や職場体験学習の充実を図ります。

②豊かな心の育成

・道徳教育、ふるさと教育の充実

教育活動全体を通じて「道徳性」を養うとともに、人間性、社会性の育成をめざす地域体験活動を行います。社会科副読本を活用し、「ふるさと学習」を進めます。

・読書活動、SDGs・ESD、体験活動の推進

学校や家庭、地域の読書活動の推進のほか、「SDGs」「ESD」に関連した活動の推進、地域の教育資源を生かした多様な体験活動を行います。

・コミュニケーション能力の育成

授業での対話・交流場面重視のほか、話し合い活動や自分の思い・考えを発表する機会を含め、教育課程全体を通した言語活動の充実を図ります。

・いじめ・不登校を解消する取組みの充実

タブレット端末を活用した「心の健康観察」を実施し、早期発見に努めるほか、相談窓口の継続や、いじめ防止基本方針による取組みを促進します。インターネットを活用した学級経営アセスメントツールの活用学年を拡充し、児童生徒のSOSなどを早期に発見し対応します。

不登校児童生徒の支援として、公認心理士などによる児童生徒のカウンセリングや保護者との教育相談体制の充実を図ります。教育支援センターの効果的な運用を図り、関係機関と連携し、多面的にサポートします。

③健やかな体の育成

・体力・運動能力の向上

「全国体力運動能力・運動習慣調査」結果をもとに、学校での体力づくりに向けた取組み「一校一実践」を支援します。

・健康教育・食育の推進

熱中症や感染症予防に向けて、健康管理の徹底に努めます。

④学びを支える家庭・地域との連携・協働

・家庭教育支援の充実

望ましい生活習慣の定着や通信アプリの適切な使用などに関する情報を提供し、家庭での管理意識を高めます。学校・教育支援センターと連携したいじめや不登校などの相談体制を継続支援します。

・学校と地域の連携・協働の推進

「地域コーディネーター」を中核とし、地域学校協働活動の推進を図ります。

・学びのセーフティネット

ICT機器を活用した授業体制を確立します。

⑤学びを高める信頼される学校づくり

・学校段階間の連携・接続の推進、特色ある学校づくり

幼小、小中接続時の連携を組織的に継続。特認校である東中小の教育活動を支援します。

・授業力・児童生徒理解力向上

校内研究や授業力向上を図る研修を推進します。

・学校施設

机や椅子、スクールバスを更新。学校給食センターの老朽化などの課題から、安心・安全な給食の提供について検討するほか、小中学生の給食費無償化について取り組みます。

・学校運営の改善

「上富良野町業務推進計画」に基づき、校務支援システムの活用による情報や教材の共有、学習支援員などを効果的に活用し業務量の軽減を図ります。

・学校安全教育の充実

自然体験や防災教育、地域資源を生かしたプログラムについて、十勝岳ジオパーク推進協議会と連携し取組みを進めます。「子どもの危機管理初期対応マニュアル」に基づき、噴火・猛暑など、災害や緊急事態から児童生徒の安全を確保するため、安全教育などに対する支援に努めます。

住民会・町内会による登下校時の「見守りパトロール」など、地域総ぐるみで児童生徒の安全保持に努めます。

⑥上富良野高等学校への総合的支援

通学費や就学支援金、入学準備金の助成、介護職員初任者研修など各種資格取得への支援のほか、給食を希望する生徒の給食費無償化について取り組みます。

社会教育推進目標に関連する5項目

①家庭と地域の教育力の向上、青少年の健全育成

・家庭の教育力向上

町内の認定こども園と連携し、家庭教育学級など学習機会の提供、子育て研修会などとの情報共有に努め、子育てサークルの活動支援としての施設利用を促進します。

・地域の教育力向上

「放課後クラブ・放課後スクール」の運営を継続。「なかよしサミット」「通学合宿」などを開催するほか、青少年海外派遣人材育成事業を行い、グローバル化や価値観の多様性に対応していく人材を育成します。友好都市提携している三重県津市に小学生を派遣し交流するとともに郷土歴史学習に取り組みます。


なかよしサミット

・団体育成

子ども会やスポーツ少年団など自主的活動を尊重し支援します。

・青少年の健全育成

地域と学校、教育機関が連携しながら青少年が健やかに育つ環境づくりを行います。

②社会で活きる力を身に付け、持続可能な潤いのある地域づくり

・各世代の生涯学習活動の推進

幼児から青少年・成人・高齢者まで生涯にわたる各世代の学習活動の継続と充実を図るとともにウェルビーイングの向上をめざし、地域資源を生かした教育活動を推進します。

・図書館運営

図書支援員（司書）を引き続き配置し、各世代が読書に親しめる環境整備として、SNSを活用した情報発信を行います。また、図書館職員を定期的に学校へ派遣し、学校図書館の運営を支援します。

③豊かな心と健やかな体を育むスポーツ活動の推進

・スポーツ活動の振興

スポーツ推進委員・スポーツ団体と協力して各種教室や大会を開催。全国大会出場や強化指定選手などに選出された選手への支援を行います。スポーツ協会創立60周年を迎えることから、記念行事の実施に際し支援します。

④郷土を愛し、豊かな情操と創造を育む文化活動の推進

・文化の振興、郷土館の運営

自主企画芸術鑑賞事業のほか、町民芸術鑑賞事業などの実施、文化教室を支援します。郷土館の運営は、郷土学習推進員（学芸員）を配置し、郷土資料の収集、整理・保存を行い、また郷土に触れる学習機会の充実を図ります。十勝岳大正泥流被災100年にあたり、十勝岳噴火泥流災害90年回顧誌の改訂版の発行、講演会や砂防見学会を計画します。

⑤生涯学習社会の実現をめざした生きがい環境づくり

・社会教育活動の推進

「人とのつながり」を中軸に、「仲間づくり、地域づくり」による持続可能なコミュニティ活動を支援します。地域おこし協力隊制度を活用し、スポーツ文化推進員の配置を検討し、文化・スポーツなどの普及活動を進めます。

・社会教育施設の基盤整備

各種施設の維持管理と運営に努めます。